

鯖石川の近隣にお住まいの皆様へ

新潟県柏崎地域振興局
(地域整備部)

鯖石川ダムの堆砂対策に関するお知らせ

鯖石川ダムでは、昭和49年の完成以降、想定を超える堆砂の進行に伴って貯水容量が年々減少を続け、ダム下流域における「洪水被害の軽減」や「不特定かんがい用水の補給」といった、鯖石川ダムの重要な役割に支障をおよぼす恐れがあることから、平成23年より「堆砂対策」を実施しています。

この取り組みを開始して以来、ダムの堆砂量に抑制効果が得られていることから、引き続き本年も下記のとおり「堆砂対策」を実施します。

記

- 1 実施の期間 令和3年2月22日(月)～4月16日(金)
※ 気象状況により、変更又は中止する場合があります。
- 2 対策の内容 ダムの下流域への影響に配慮しながら、融雪に伴う河川水を利用して、ダムの上流から流入する土砂や貯水池内に堆積した土砂を、少しずつダムから流します。
- 3 影響調査 堆砂対策を実施している間は、この影響を監視するために、環境(水質や生物)の変化に関する調査を行います。
- 4 今後の予定 ダムの下流域における環境と治水に配慮し、翌年以降も継続して「堆砂対策」を実施する予定です。

問い合わせ先
地域整備部 ダム管理課 森谷・山本
電話：0257-41-2070

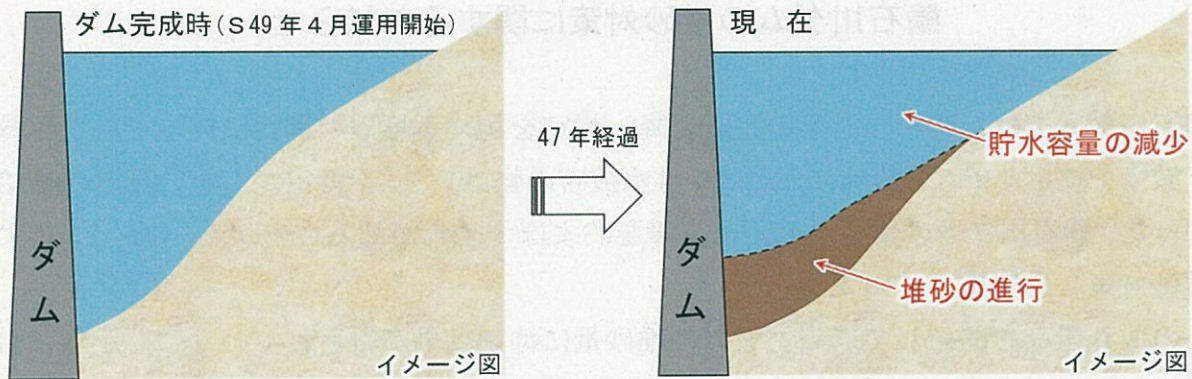
*** 詳しい内容については、裏面をご覧ください ***

鯖石川ダムの堆砂対策

～ 洪水を防ぎ、かんがい用水を確保するために ～

【鯖石川ダムの現状】

昭和49年の完成以降、鯖石川ダムでは予想を超える速さで土砂が堆積し、このままではダム下流域の「洪水の防止」と「不特定かんがい用水の補給」に支障が生じる恐れがあります。



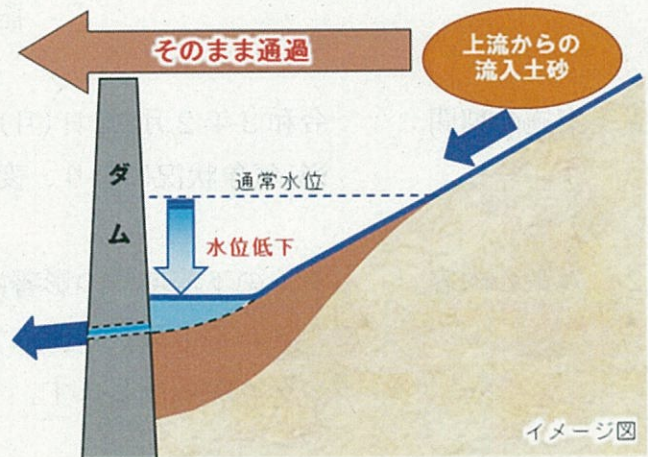
【堆砂対策に対する取り組み】

「通砂（スルーシング）」を行います。

「通砂」とは、右の図のとおり、貯水池の水位を低下させ、上流からの流入土砂を下流へそのまま流すものです。

その際に、既に貯水池内に堆積している土砂の一部も、ゆるやかに流れ出すこととなります。

ダム下流への影響を調査しながら、慎重に「堆砂対策」を実施します。



【当年の実施概要】

- 期間：令和3年2月22日(月)～4月16日(金)
- 水位調節：貯水池の水位を通常より最大で約4m低下させて運用を行います。

